

## ○令和3年度目標達成状況

資料2

No.	項目	令和2年度		令和3年度		検証と今後の対応
		目標値	実績	目標値	実績	
1	福祉コミュニティエリアにおける居住者数（累計）	500人	310人	500人	400人	宅地は令和3年度末時点で全101区画が売却済みとなっている。また、売却された宅地には、概ね、住宅が建設されていることから、居住者数の増加につながっているものと考えられる。 令和4年度からは、休止中であった介護保険施設3か所が再開したため、居住者数の更なる増加が予測される。
2	市外からの移住者数（累計）	50人	25人	50人	35人	移住者数は増加しているが、宅地が完売したことを踏まえると、今後はこれまでよりも緩やかな増加となることが予測される。
3	施設運営に係る雇用人数（累計）	350人	290人	360人	304人	令和3年6月には多世代交流センター内に内科のクリニックが、7月には訪問マッサージを行う施術所が開設しており、雇用人数は増加している。 令和4年度からは、休止中であった介護保険施設3か所が再開したため、雇用者数の更なる増加が予測される。
4	生涯活躍のまち形成による経済効果	7.69億円	19.28億円	7.69億円	21.01億円	売却した宅地に多くの住宅が建設されたことにより、前年度の数値と比較して1.7億円程度増加している。 建設需要も概ね一服したことから、次年度以降は今年度の数値より減少するものの、エリア内にスーパーマーケット等の商業施設があることから、引き続き目標値を上回ることが予測される。
5	地域福祉の相談件数	72件	75件	72件	47件	新型コロナウイルスの感染予防やコロナ禍における日常の過ごし方等に関する相談が、前年度と比較して大幅に減少しており、結果的に目標値を下回った。 今後は、新型コロナウイルス感染症の収束とともに、相談件数もコロナ禍前の水準に戻ることが予測される。
6	ボランティア人数	250人	12人	250人	44人	前年度より実績値は上回っているが、引き続きコロナ禍により、ボランティアの方々に動員をお願いしづらい状況が続いている。 今後、新型コロナウイルス感染症の収束とともに、徐々に従来ベースの人数（年間200人程度）に戻るものと予測される。